

地域づくり塾 2023

GINOWAN

第6期

-GINOWAN TIKI ZUKURI JYUKU 2023-

第6回講座 中間発表 ～企画のための1アクション～

日時：2023年10月25日（水）19:00～21:30

場所：普天間第二小学校 クラブハウス（地域連携室）

参加者：12名／16名（地域コーディネーター、自治会、福祉・医療関係等）

いよいよ!!中間発表～企画のための1アクション～

第6回講座では、これまでチームで話し合ってきたことをまとめ、中間発表を行いました。これまで学んだ企画づくりのルールやコツをおさえながら、企画を深めるための1アクションについても考え、各チーム熱のこもった発表となりました。それぞれの発表の後には異なるチームの塾生と意見交換を行い企画をブラッシュアップすることができました。また、最終発表に向けてプレゼンテーションの方法や、塾生の企画が今後地域で活かされるよう、助成金の情報についても案内がありました。



【Aチームタイトル】

リアルでもオンラインでも出入り自由なゆるい社交場(仮)
～スナック公民館～

＊目的＊障がい者、精神疾患、引きこもりなど支援が必要だが声を上げられない人たちに向け、リアル／オンラインで出入り自由のゆるい社交場を作ることによって地域社会や当事者同士のつながりを作りやすくし、ひいては誰もが気兼ねなく”迷惑”を、かけあい、必要とされている実感の持てる社会を目指す。

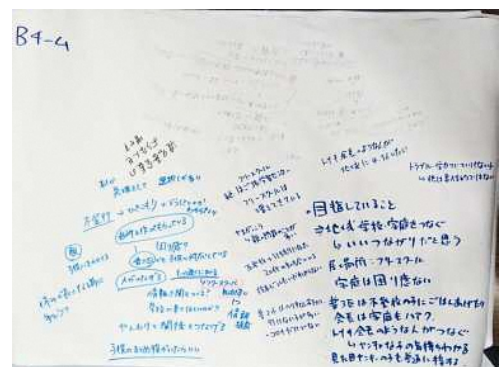
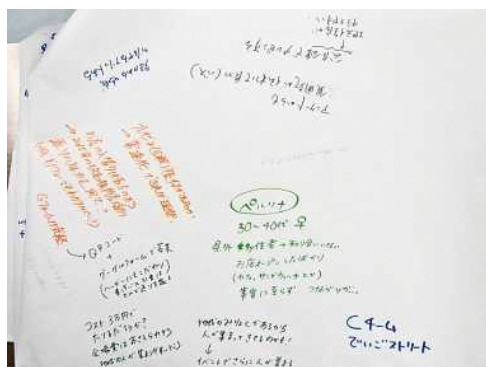
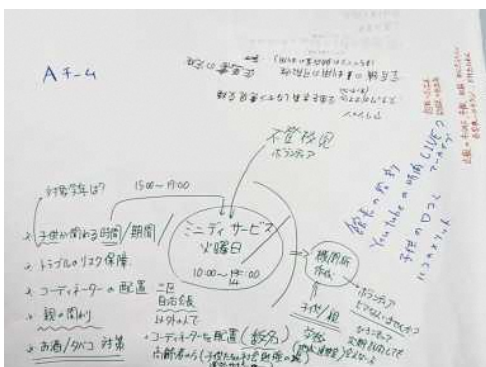


◎宮道Q.スナック公民館として想定している場所は？

➢普天間三区に社会貢献をしたいと考えるママさんのいるスナックがある。
過去に地域活動支援センターの活動で日中にカラオケを利用したこともある。

◎企画を深めるための1アクション◎

➢スナックのママとオーナーに話を聞きに行く





【Bチームタイトル】

不登校の小学生の実態と取り巻く環境を可視化する
～誰が困っているかを知り共有するためには～

＊目的＊不登校の子どもについて困っている事や人を知ること、地域の資源を確認しながら言語化・可視化を図り課題を共有することができる。

◎宮道Q.不登校になってしまう考えられる要因は？

➢学習についていけないという声の他に、トラブルなど明確な理由がなくても、子どもが学校に行きたがらないことを親が容認している場合もある。学校を休むことのハードルが低くなっている。

◎宮道Q.不登校の子ども達に対し、どこを目指すのか？

➢学校に登校させることだけが目的ではなく、その子たちの居場所があるといいので、地域、学校、家庭をつなげたい。

◎企画を深めるための1アクション◎

➢地域でどんなすぐりむんがいるか調べる。子ども達が会うことで視野を広げられるようなすぐりむんを探す。



【Cチーム/でいごストリートタイトル】

地域をつなぐ・ぎのわんヒルズ通り店舗のプレゼン合戦！
～古くからの住民と新しい住民・店舗をつなぐ～

＊目的＊ヒルズ通り店舗のプレゼン合戦を行い、地域に集いの場をつくることで、地域の知らない者同士が交流を助け、つながる機会を創る！

◎宮道Q.対象エリアは？

➢第二小学校区全体

◎宮道Q.ヒルズ通りの店舗数はどのくらい？

➢全体の店舗数は不明。ヒルズ通り会に加入している店舗は24店舗で、そのうち飲食小売りは10店舗程度。自治会加入店舗も把握している。

◎宮道Q.ペルソナは？

➢新しく店を始めたが知り合いがおらず、集客に苦労している30～40代の店主

◎企画を深めるための1アクション◎

➢ヒルズ通りの店舗数を調べ、店舗へのアンケート実施につなげる



受講生アンケートより

- 限られた時間の中でプレゼンし、それに対するフィードバックをもらうことで企画の中身が改善されることを体験的に感じられました。
- 企画書からプレゼンでどのように伝えるか、どう言えば伝わるのか、目的を決めるのは難しいと感じました。他のグループからのご意見や励ましがありがたかったです。
- 企画内容を固めていくために他者の視点を求めることは大事であることを実感した。



第7回講座は⇒⇒⇒

内容：チームで企画づくり

日時：2023年11月8日（水）19:00～21:30

場所：新城区公民館